

科目名「高齢者歯科学」

| | | |
|--------------------------|---|--------|
| 学年 | 学期 | 科目責任者 |
| 2 | 前学期 | 野本 たかと |
| 科目ナンバリング | C-7-④-I-11 | |
| 単位数 | 1 | |
| 学修目標 (GIO) | 要介護者人口の増加に伴う福祉・医療費の増大が懸念されており、国民の健康問題が大きな課題である。こうした課題は地域支援によって解決されるべきものであり、地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として健康増進の鍵となる口腔機能の維持を担う責任がある。そのため高齢者の取り巻く社会環境を熟知しておく必要がある。地域歯科医療において高齢者のための包括的な歯科医療における課題を解決できる基本的能力を修得する。 | |
| 担当教員 | *野本たかと, *田中陽子, *遠藤真美, *矢口学, *梅澤幸司, *小見山道, *飯田崇, *岩崎正敏, *井樋加奈子 | |
| 教科書 | 「よくわかる 高齢者歯科学」佐藤裕二, 植田耕一郎, 菊谷武 編集主幹 (永末書店) | |
| 参考図書 | 「歯科衛生士学シリーズ 高齢者歯科学」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版) 「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」森戸光彦 監修 (永末書店) 「歯科衛生士のための有病者歯科医療」 白川正順 監修 (クインテッセンス出版) | |
| 評価方法 (EV) | 評価は、平常試験2回、100%で判断する。各講義担当者が出題し、配点の比重は講義回数に比例する。80点以上は「優 (A)」, 60点台は「可 (C)」とし、各平常試験の再試験は行わず、結果に応じてレポート提出の措置を講じることがある。平常試験を欠席した場合は追試験を実施する。 | |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 歯科医師および歯科衛生士の実務経験を活かし、地域で生活する高齢者の口腔の健康増進を支援できるような人材を育成する内容を説明する。講義を介して多様化する高齢者の存在を念頭においた地域歯科医療における歯科衛生士の役割を十分に認識して知識および技術を修得してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日8：30～17：30 | |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容 | 担当教員 |
|------------|----------|--|--------|
| 第1回 4/5 | 高齢者と社会環境 | <p>【授業の一般目標】 社会における高齢者のおかれた環境について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 高齢化, 多死社会などの社会的環境を説明できる 2. 高齢者に関与する福祉政策について説明できる</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分, 予習内容：高齢化に伴う社会的課題 復習時間：60分, 復習内容：高齢者のおかれた社会環境</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> | *野本たかと |

| | | | |
|---------------------|------------------------------|--|---------------------------|
| <p>第2回 4/12</p> | <p>加齢変化 (全身)</p> | <p>【授業の一般目標】 高齢者の身体的・精神的社会的機能の変化を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 加齢に伴う生理的变化と病的変化について説明できる 2. 老年期の社会生活機能の変化について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：高齢社会の問題点と社会福祉 復習時間：60分，復習内容：加齢に伴う全身の変化 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 田中陽子</p> |
| <p>第3回 4/19</p> | <p>高齢者の全身疾患 と歯科診療の配慮</p> | <p>【授業の一般目標】 高齢者の全身疾患並びに歯科診療上の配慮を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 高齢者に多い疾患の定義・原因・病態について説明できる 2. 1における歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：加齢に伴う全身の変化 復習時間：60分，復習内容：全身疾患と歯科治療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 遠藤眞美</p> |
| <p>第4回 4/26</p> | <p>高齢者と薬剤</p> | <p>【授業の一般目標】 高齢者の歯科診療上の薬剤使用にける配慮を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 高齢者の薬物動態について説明できる 2. ポリファーマシーについて説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：高齢者の機能低下 復習時間：60分，復習内容：高齢者の薬剤投与の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 矢口 学 (野本たかと)</p> |
| <p>第5回 5/10</p> | <p>高齢者のための 感染予防対策管理</p> | <p>【授業の一般目標】 易感染性である高齢者の感染予防管理の重要性を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 高齢者における感染症の特徴を説明できる 2. 感染予防対策について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：高齢者の機能低下 復習時間：60分，復習内容：高齢の感染症の発症と対策 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 梅澤幸司</p> |

| | | | |
|---------------------|-------------------------------------|--|--|
| <p>第6回 5/17</p> | <p>高齢者の 歯科診療への導入</p> | <p>【授業の一般目標】 高齢者の機能と派生する行動特性を理解し、歯科診療において必要な配慮についての知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 高齢者の行動特性について説明できる 2. 高齢者とのコミュニケーション方法について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：高齢者における全身機能の特徴 復習時間：60分、復習内容：高齢者の行動特性とコミュニケーション方法 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 矢口 学 (野本たかと)</p> |
| <p>第7回 5/24</p> | <p>平常試験1</p> | <p>【授業の一般目標】 平常試験1までに行われた講義内容を理解し、目標を達成できているかを確認することで自己評価が出来る。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下を確認する 平常試験1までの講義内容についての理解 【準備学修項目・時間】 予習時間：200分、予習内容：1回から6回までの講義内容 復習時間：60分、復習内容：自己評価および再修得 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 試験</p> | <p>* 野本たかと * 田中陽子 * 梅澤幸司 * 遠藤真美 * 矢口 学 (野本たかと)</p> |
| <p>第8回 5/31</p> | <p>高齢者の 口腔内の変化と 疾患への対応1</p> | <p>【授業の一般目標】 加齢に伴う口腔機能の低下と高齢者に多く認められる口腔疾患について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 高齢者における口腔機能の特徴を説明できる 2. 高齢者にみられる口腔疾患について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：口腔機能についての基本的知識 復習時間：60分、復習内容：高齢者の口腔内環境 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 飯田 崇 * 岩崎正敏 (小見山道) * 小見山 道</p> |
| <p>第9回 6/7</p> | <p>高齢者の 口腔内の変化と 疾患への対応2</p> | <p>【授業の一般目標】 高齢者の歯科治療計画を立案するための知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 高齢者の歯科治療の実際について説明できる 2. 高齢者の歯科治療計画立案の仕方について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：高齢者の口腔内環境と疾患 復習時間：60分、復習内容：高齢者への歯科治療計画立案 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 飯田 崇 * 岩崎正敏 (小見山道) * 小見山 道</p> |

| | | | |
|----------------------|------------------------------------|---|----------------------------|
| <p>第10回 6/14</p> | <p>高齢者に対する 口腔衛生管理1</p> | <p>【授業の一般目標】 高齢者の口腔衛生管理の基本的事項について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 口腔機能と全身機能の関係性について説明できる 2. 健康増進支援での口腔衛生管理の重要性を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：高齢者の感染症と口腔機能 復習時間：60分、復習内容：高齢者の口腔機能管理の重要性 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 遠藤眞美</p> |
| <p>第11回 6/21</p> | <p>高齢者に対する 口腔衛生管理2</p> | <p>【授業の一般目標】 歯科衛生過程に基づいた高齢者の口腔衛生管理の具体的対応を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 高齢者における衛生過程について説明できる 2. 高齢者への口腔衛生管理の具体的な手法を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：口腔機能と全身機能との関連性 復習時間：60分、復習内容：口腔ケアの具体的な手法 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 井樋加奈子 (野本たかと)</p> |
| <p>第12回 6/28</p> | <p>高齢者の 摂食嚥下リハビリ テーション</p> | <p>【授業の一般目標】 高齢者に対する摂食嚥下リハビリテーションの重要性を理解し、具体的な手法についての知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 高齢者の摂食嚥下リハビリテーションの目的を説明できる 2. 1における具体的な手法について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：高齢者の口腔機能の特徴 復習時間：60分、復習内容：高齢者の摂食嚥下指導 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 田中陽子</p> |
| <p>第13回 7/5</p> | <p>要介護高齢者の 現状と 医療実態</p> | <p>【授業の一般目標】 地域口腔保健活動に携わるために要介護高齢者の社会環境と福祉医療についてを理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 要介護高齢者の全身および口腔の特徴について説明できる 2. 要介護高齢者の社会福祉社会的環境について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：要介護高齢者の福祉・医療 復習時間：60分、復習内容：要介護高齢者と口腔の関連性 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 梅澤幸司</p> |

| | | | |
|----------------------|--------------------------|---|---|
| <p>第14回 7/12</p> | <p>在宅患者における 地域連携</p> | <p>【授業の一般目標】 在宅患者に対する口腔機能維持について法理的な勘手から臨床を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 介護保険を含めた地域包括ケアについて説明できる 2. 地域連携を基にした訪問歯科診療について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分， 予習内容：介護保険と口腔機能 復習時間：60分， 復習内容：訪問歯科診療と地域連携 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 梅澤幸司</p> |
| <p>第15回 7/19</p> | <p>平常試験 2</p> | <p>【授業の一般目標】 平常試験1終了後から2までに行われた講義内容を理解し，目標を達成できているかを確認することで自己評価が出来る。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下を確認する 平常試験1終了後から2までの講義内容についての理解 【準備学修項目・時間】 予習時間：200分， 予習内容：8回から14回までの講義内容 復習時間：60分， 復習内容：自己評価および再修得 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 試験</p> | <p>* 野本たかと * 飯田 崇 * 岩崎正敏 * 小見山 道 * 遠藤真美 * 井樋加奈子 * 田中陽子 * 梅澤幸司</p> |